

組織目標評価報告書（平成26年度）

部局名： 情報統括センター

目 標	目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
①教育領域	自己評価
①-1 目標 ①担当するコマ数を増やすとともに、教育内容の質の向上に向けての取り組みを行う。	平成26年度の情報統括センター教員が担当する教養科目は、前年の7コマから4コマ増やした11コマを担当した。また、情報統括センター内のICT機器を活用して、複数講義室の連携による講義を、学内に先駆けて行った。 情報統括センターが「日経パソコンEdu」と共同で作成した教科書『学生のための「情報」基礎』を用いることで、情報に関する最新コンテンツをインターネットで学ぶことができるようになり、情報教育の質を向上させた。
①-2 目標とする(重要視する)客観的指標 担当コマ数の増加 ICT機器の活用	
②研究領域	
②-1 目標 ①情報統括センター業務に関連する研究を推進する。	科研費の採択件数は、継続も含めて3件であった。 教員活動評価データ入力支援を行い、蓄積データ(論文情報、外部資金獲得状況、授業情報等)を大学情報データベースに反映し、研究情報の公開や情報分析を支援し、岡山大学の研究の推進に寄与した。
②-2 目標とする(重要視する)客観的指標 科研費の採択件数	
③社会貢献(診療を含む)領域	自己評価
③-1 目標 ①ITに関する公開講座を実施するなど地域貢献を推進する。 ②幹事校として国立大学情報化連絡協議会の全国会議を開催する。	平成26年度の公開講座は、前年の4講座から1講座増やした5講座を開講し、135人が受講した。新規に開講した「情報セキュリティを知るコース」と「初心者プログラム入門」も含め、どの講座も概ね好評であった。 国立大学法人等情報化連絡協議会の幹事校として、平成26年度第2回の全国会議を開催し、会議の取りまとめを行った。
③-2 目標とする(重要視する)客観的指標 公開講座アンケート	
④センター業務	自己評価
④-1 目標 ① 学内情報環境の利便性及び安定性の向上に努める。特に、情報共有と動画配信の環境を整備する。 ② 岡山大学情報セキュリティポリシーの遵守を徹底する施策と、更なる情報セキュリティの向上を目的とした教育訓練を実施する。 ③ 岡山大学情報データベースに様々なデータ(教育、研究、管理運営等)を蓄積するとともに、蓄積データを利活用する部門と連携し、より効果的な分析方法の検討を行う。	①岡山大学クラウドラーニングシステムを導入し、センター外でも複数講義室の連携による講義ができる環境を整備した。また、WebClassの環境を支援することで、e-Learningを充実させ、教育内容の質を向上させている。教養教育棟の講義室、各学部の無線LAN設置を推進し、学内で計約600のアクセスポイントを設置。ICT機器の活用環境を整えた。 安全性の向上として、昨年度取得した情報セキュリティ運用の国際標準であるISMS(ISO/IEC27001:2005)をISMS(ISO/IEC27001:2013)の最新版で10月に更新した。 ②平成26年7月を情報セキュリティ強化月間として、新規事項5件、継続事項3件、計8件の取り組みを行った。新規事項として、学内のパスワード設定ルールに適合しない約1万3千人にパスワード変更を促すこと、不要となったPC内の情報を確実に破壊して885台の廃棄などを行った。また、情報セキュリティの向上のため、7月30日に情報セキュリティ講習会、9月8日、9月19日に情報セキュリティセミナーを開催した。情報セキュリティセミナーの参加者は計660名であり、前年度比2.8倍以上であった。 情報セキュリティのe-Learningを4月から開始し、12月にはコンテンツを多言語化(英語・中国語・韓国語)して提供している。また、ウイルス対策ソフトウェアを全学で包括契約し、学内セキュリティの強化に努めている。 ③教職員活動情報や学生履修情報等、大学経営に必要な情報、教育の質保証に必要な情報を継続的に蓄積し、蓄積情報の最新化を進めた。また、アドミッションセンター、人事課、情報戦略検討PT等の要請に応じて学生・教職員情報の抽出・提供、及び教員の主な研究情報の公開状況等の情報分析を支援した。加えて、情報公開の基盤となる岡山大学ポータル公開システムを、平成28年度運用開始に向け構築を開始した。 ④当初目標に加え、事務情報システムの更新で、大容量化するメールや共有フォルダへの対応、事務処理の効率化を支援するポータル機能(メール、スケジュール、施設予約、掲示板、ファイル共有などを統合利用可能とするサービス)、PCからの情報漏えい対策とPC故障時の迅速な回復を可能とするシンクライアントシステムを導入し、業務の効率化を図った。また、岡山大学の教育、研究活動の整備のために、マイクロソフト社との包括契約(WindowsとOfficeの全学利用権)を締結し、運用している。
④-2 目標とする(重要視する)客観的指標 セキュリティマネジメントシステムの認証取得 情報セキュリティセミナー受講者数 目標値:前年度比増 セキュリティポリシー等の多言語化	
【総括記述欄】	
全般的に今年度の組織目標を達成している。平成26年度に、情報統括センター運営委員会を部局の副長が出席する会議に変更し、情報化を推進する全学的な体制を整備したことにより、次年度以降、情報化の推進を図りながら無駄な支出を抑制する予定である。 また、検討が始まっている情報セキュリティを専門に対応する部署(CSIRT)設置に対応するため、センター内でも設置に向けての準備を開始する予定である。その他、グローバル化に対応し、各種サービスの多言語化を行う予定である。	